

(第139期) 2021年11月期

事業報告書

2020年12月1日から2021年11月30日まで

NACHI

株式会社 不二越

証券コード 6474



株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2021年11月期(2020年12月1日から2021年11月30日まで)の事業の概況についてご報告いたします。

経営環境

当期における当社グループをとり巻く環境は、経済活動の正常化が進み、日本・欧米などの先進国経済の持ち直しが続くなど、総じて緩やかな回復基調にあります。一方で、新型コロナウイルス感染症の再拡大や世界的な半導体不足による自動車の減産、中国経済の減速懸念などにより、依然として先行きの不透明な状況が継続しております。

事業の経過ならびに成果

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、ユーザーのものづくりに寄与する新商品の開発や技術提案などにより、受注・売上の拡大にとり組んでまいりました。また、収益の改善に向けて、需要の変動に柔軟に対応する生産体制の構築、合理化などを進め、さらに、中長期的な脱炭素・EV化をはじめとする産業構造の変化を見据え、事業全般の構造改革を推進してまいりました。

以上の結果、当期の連結売上高は、自動車や建設機械分野に加え、産業機械・市販分野での需要が回復したことにより、2,291億円と前期に比べ14.0%の増収となりました。このうち、国内売上高は1,167億円(前期比11.8%増)、海外売上高は1,123億円(同16.3%増)であります。利益面につきましては、売上・生産の増加による操業度の改善に加え、昨年来実施してきた自動化・合理化による生産性の向上、内製拡大、業務の効率化による販売費・一般管理費の節減など、トータルコストダウンの効果を取り込み、営業利益は147億円(同2.1倍)、経常利益は144億円(同2.6倍)、親会社株主に帰属する当期純利益は99億円(同4.1倍)となりました。

配当金

期末配当金につきましては、収益の状況、今後の事業展開を勘案し、1株につき100円とさせていただきます。

今後の取り組み

今後の事業環境につきましては、足もとでは、新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体不足の影響が残るものの、自動車・産業機械・建設機械・市販分野ともに需要は概ね緩やかに回復していくことが予想されます。一方で、脱炭素社会の実現に向けて、当社の主要な事業領域である自動車分野においては、本格的なEV化に向けた取り組みや事業再編が加速し、さらに、ものづくりのDXの進展や、SDGsをはじめとした社会・環境問題への対応など、当社グループをとり巻く環境は大きく変化しております。

当社グループといたしましては、ロボットをはじめ多彩な事業・技術・生産ノウハウを有する独自性を活かし、新しいビジネスチャンスを創出してまいります。そして、営業・サービス、製造・調達、研究開発の各面で体質を強化して、市場の動き・ニーズを捉え、全部門の技術を連携・結集した商品・サービスを拡販し、また、自動化・合理化により生産性を向上させていくことで、業績の一層の向上に努めてまいります。そして、事業活動を通して、環境・社会・ガバナンスなどの課題にとり組み、持続的な企業成長を目指してまいります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月



代表取締役会長

本間 博夫

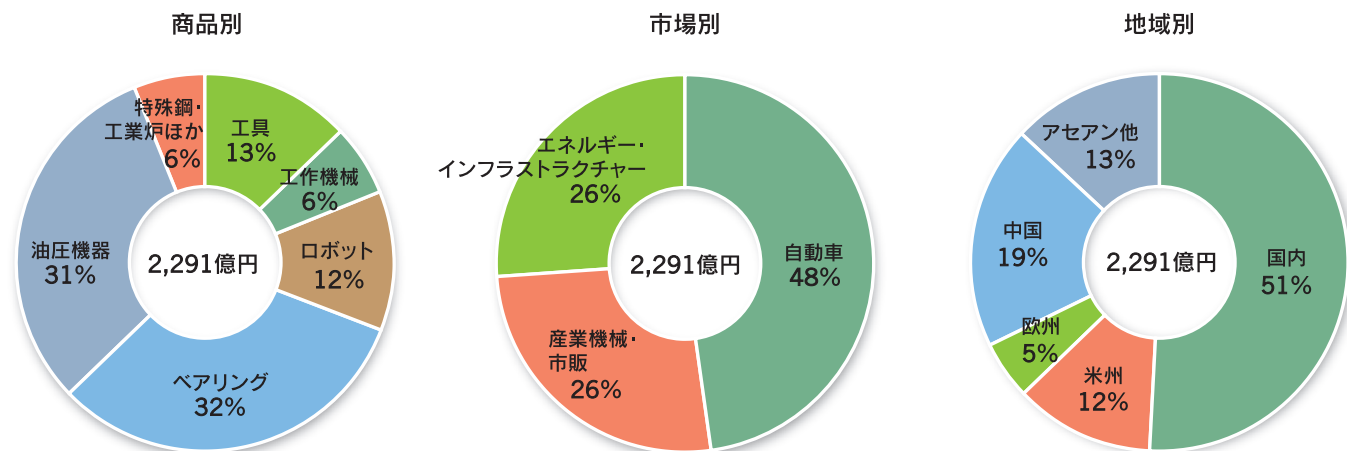


代表取締役社長

坂本 淳

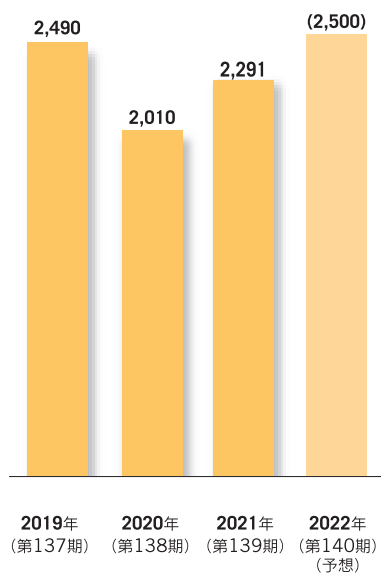
業績の概要(連結)

売上高の構成

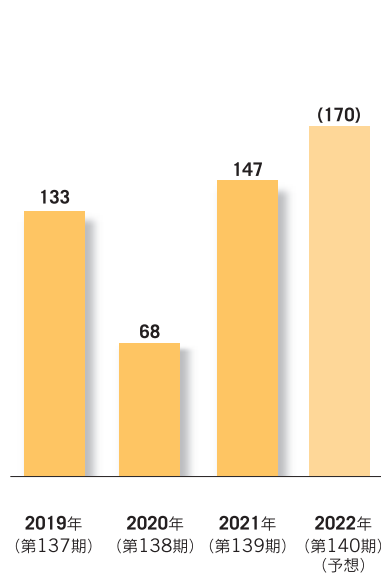


業績の推移

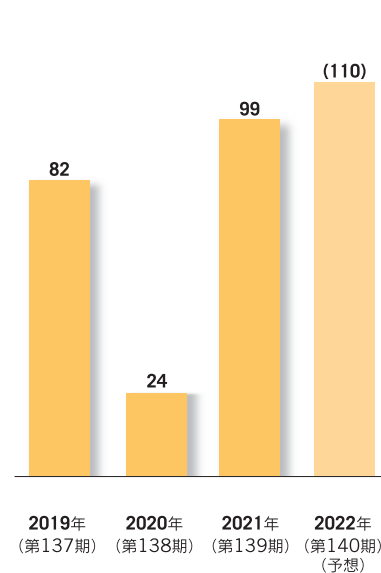
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



トピックス

持続的な成長に向けて

脱炭素・EV化など産業構造が大きく変化する中、ものづくり全般の技術力を活かして、EV・産業機械などの成長分野に向けた独自の新商品を開発し、全世界で拡販を進めてまいります。

加工・ロボット技術



材料・コーティング技術



要素・生産技術



EVへの採用拡大

…材料技術をはじめ、ものづくり全般の技術を組み合わせ、採用事例を拡大

産業機械分野の深耕

…需要拡大が見込まれる建設機械や、電機・電子の小型部品市場などを深耕

1. EVへの採用拡大

EV向けの部品や材料、生産設備の開発・拡販を引き続き進めてまいります。EVのモータや減速機、電動コンプレッサーや、ロック機構に組み込まれる部品への採用も拡大しております。



電動ユニット用
深溝玉軸受



スカイピング複合加工機「GMS100」
(2月新発売、EVの部品などを加工)



アクチュエータ
(パーキングロック機構に使用)

2. 産業機械分野の深耕

○ 新商品の拡販

自動化ニーズに対応する小型ロボットのラインナップ拡充や、小径穴加工を狙いとしたマイクロドリルを市場投入。また、カーボンニュートラル対応でニーズが高まる環境対応型商品などの拡販を進めてまいります。



スカラロボット・コンパクトロボット
(幅広いラインナップで、ユーザーの全工程に対応)



「アクアREVOドリルマイクロ」
(電機・電子分野での小径穴加工等に使用)



省エネソレノイドバルブ
(工作機械・鍛圧機械等に使用)

○ 生産体制の強化

将来の収益の柱とするため、産業機械向け軸受、建設機械向け油圧機器の生産能力を日本・中国で増強。また、標準ラジアル軸受の生産をタイに移管し、現地一貫生産でグローバル競争に打ち勝つ生産体制を構築します。



ボールねじサポート用軸受



建設機械用油圧機器



那智不二越(江蘇)精密機械有限公司
(中国で油圧機器を増産)

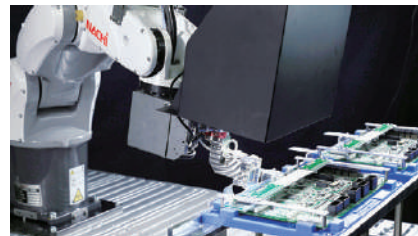


標準ラジアル軸受タイ新工場
(今春稼働)

○ 日刊工業新聞社の十大新製品賞を受賞

組立自動化ソリューション「ロボット コネクタ挿入アプリケーション」が、『十大新製品賞 本賞』を受賞。

ニーズの多い電機・電子製品のケーブル挿入工程の自動化を実現。独自のアルゴリズムを用いた新しい視覚制御技術による高速・高精度動作の実現や多様な挿入作業への対応、簡単にセットアップできる利便性などが評価され、受賞に至りました。



財務諸表

連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2020年11月30日現在)	当期 (2021年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	137,960	159,258
現金及び預金	40,118	41,771
受取手形及び売掛金	45,938	55,100
たな卸資産	48,151	57,381
その他	3,752	5,005
固定資産	155,099	160,053
有形固定資産	113,085	114,260
建物及び構築物	29,603	29,254
機械装置及び運搬具	65,650	63,811
土地	9,473	9,465
その他	8,358	11,728
無形固定資産	2,828	2,861
投資その他の資産	39,185	42,931
資産合計	293,060	319,312

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2020年11月30日現在)	当期 (2021年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	92,926	103,344
支払手形及び買掛金	33,509	47,826
短期借入金	48,272	29,208
その他	11,144	26,309
固定負債	75,874	77,755
長期借入金	54,852	56,266
退職給付に係る負債	10,148	9,754
その他	10,873	11,734
負債合計	168,800	181,100
(純資産の部)		
株主資本	113,302	119,427
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,243	11,401
利益剰余金	88,123	96,875
自己株式	△ 2,139	△ 4,924
その他の包括利益累計額	3,591	10,676
非支配株主持分	7,366	8,107
純資産合計	124,259	138,211
負債及び純資産合計	293,060	319,312

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2019年12月1日から 2020年11月30日まで)	当期 (2020年12月1日から 2021年11月30日まで)
売上高	201,055	229,117
営業利益	6,850	14,718
経常利益	5,508	14,457
特別利益	30	400
特別損失	677	247
税金等調整前当期純利益	4,861	14,610
親会社株主に帰属する当期純利益	2,458	9,993

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	前期(ご参考) (2019年12月1日から 2020年11月30日まで)	当期 (2020年12月1日から 2021年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,258	33,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,996	△ 14,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,858	△ 18,608
現金及び現金同等物の増減額	18,778	1,438
現金及び現金同等物の期首残高	20,157	38,936
現金及び現金同等物の期末残高	38,936	40,374

株式の状況 (2021年11月30日現在)

発行済株式の総数 24,919,343株

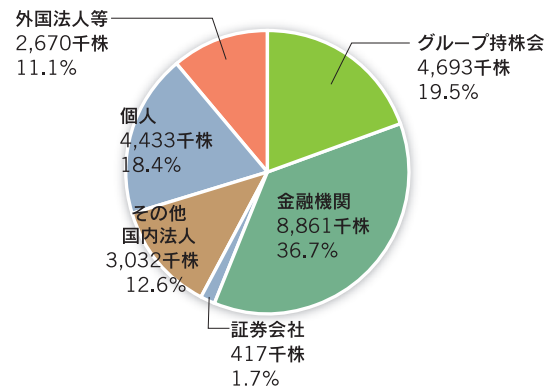
株主数 18,395名

大株主(上位5名)

(注)持株比率は自己株式(810千株)を控除して計算しています。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
那智わねい持株会	2,380	9.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,130	8.84
ナチ不二越従業員持株会	1,445	6.00
株式会社三菱UFJ銀行	1,188	4.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	869	3.61

所有者別株式分布



取締役および監査役 (2022年2月22日現在)

代表取締役会長	本間博夫	取締役	北山恭	取締役	三浦昇
代表取締役社長	坂本淳	取締役	越濱哲夫	取締役	児玉純一*
取締役副社長	林秀憲	取締役	広瀬秀一	取締役	岡部洋*
常務取締役	原英明	取締役	市川和愛	常勤監査役	小林昌行
取締役	古澤哲	取締役	澤崎裕一	常勤監査役	堀将志
取締役	国崎晃	取締役	黒澤勉	常勤監査役	山崎昌一*
		取締役	牛丸裕之	監査役	松永徳宏*

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

会社の概要 (2021年11月30日現在)

設立 1928年12月21日 資本金 160億円 従業員数 3,266名(グループ人員7,205名)

主要な事業内容
 機械工具事業 切削工具、塑性加工工具、切断工具、工作機械、機械加工システム、ロボット、ロボットシステム
 部品事業 ベアリング、油圧機器、カーハイドロリクス
 その他の事業 特殊鋼、コーティング、工業炉

主な国内事業所

本社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F	〒105-0021	Tel. 03-5568-5111
富山事業所	富山市不二越本町1-1-1	〒930-8511 [工具 工作機械 ベアリング ロボット]	Tel. 076-423-5111
東日本支社	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル17F	〒105-0021	
中日本支社	名古屋市名東区高社2-120-3 ナチ名古屋ビル	〒465-0095	
西日本支社	大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル5F	〒530-0005	
東富山事業所	富山市米田町3-1-1	〒931-8511 [特殊鋼] / 富山市中田3-2-1	〒931-8453 [油圧機器]
滑川事業所	富山県滑川市大掛176	〒936-0802 [油圧機器 カーハイドロリクス コーティング 工業炉]	

主な海外事業所

NACHI AMERICA INC. (アメリカ) NACHI EUROPE GmbH (ドイツ)
 不二越(中国)有限公司 那智不二越(江蘇)精密機械有限公司(中国)
 NACHI TECHNOLOGY (THAILAND) CO., LTD. (タイ) NACHI SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)

株主メモ

証券コード	6474
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会開催時期	2月
基準日	定時株主総会・期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 郵便物送付先 お問い合わせ窓口	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス	http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/

■配当金の「口座振込」について

配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめします。

口座振込のお受け取りは、つぎの3つからお選びいただけます。

株式数比例配分方式 お取引の証券会社の証券口座で、お受け取りいただく方式(証券会社に口座がない株主様は、ご利用いただけません)

登録配当金受領口座方式 ご所有の全銘柄を、1つの銀行等の預金口座で一括して、お受け取りいただく方式(ゆうちょ銀行の口座は、ご指定いただけません)

個別銘柄指定方式 ご所有の銘柄ごとに、銀行等の預金口座を指定し、お受け取りいただく方式

■株式に関するお手続きについて

1. 配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買増・買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申し出先について

株主様のお取引のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙の写真

電機・電子製品のケーブルの挿入に使われる「ロボットコネクタ挿入アプリケーション」です。独自のアルゴリズムを用いた新しい視覚制御技術で、今後、生産が伸びるスマートフォンやタブレット、車載ディスプレイなどのケーブル挿入作業を高速・高精度に実現します。